

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	1	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
1	消費税減税について	(1) 先般、県知事は島根県の影響額を試算され、県と市町で約165億円の減収となる見通しを明らかにされた。内訳は地方消費税が県と市町村で25億円ずつ、地方交付税が県66億円、市町が49億円とのことだが松江市の影響を伺う。 (2) 国の補填が十分でない場合の財政運営について市長の所見を伺う。 (3) 島根県や全国市長会との連携状況、国に対してどのような施策を望むのか伺う。 (4) 食料品の消費税減税が物価高騰対策であれば、今まで行ってきた物価高騰対策交付金などとの関わりはどのようになるのか、将来的な松江市の行政事務の負担増や、市民への周知方法など現時点で想定される課題について伺う。					
2	松江市総合計画2030について	(1) 令和8年度予算の質疑で物価高騰対策、防災・国土強靱化など喫緊の課題に対応すべく限られた予算で最大限の効果を上げるため編成したとの答弁であったが、現在の進捗状況を伺う。 (2) 松江駅前再開発について総合的なプロデュースが必要と考えるが、そういった計画づくりに差しかかかっていない。一畑百貨店が令和6年1月に閉店してから2年半をすぎ、なおさらそう考えている。周辺ビルも制約があり補助金や違約金返還もあるが、会議の中でそういった議論はなされたのか、具体的な計画、議会の意見集約はいつの時期になるのか伺う。 (3) JR松江駅の乗降者は現状どうなのか、利用者増の計画はされているのか、バス利用者はコロナ前と比べてどのような状況か伺う。					
3	境港出雲道路（松江北道路）について	(1) 国の直轄事業であれば島根県の事業負担金は30%、松江北道路のような振興計画における扱いであれば6月議会で柳原議員が指摘したようにほぼ負担はない。知事もそういったことを加味し要望されており、要望会は大変良かった印象を受けたが、市長の所見を伺う。 (2) 松江北道路における地権者対策や調査など、島根県と共同で動くことができる部署を県と協力して作ることはできないか伺う。 (3) 予算を待つだけでなく事業が速やかに行われるよう、市と県が協力することを期待するが市長の所見を伺う。					
4	原子力政策について	(1) 原発特措法の対象範囲は半径10km圏内の自治体から30km圏内に拡大する方針が決定され、従来の14道府県76市町村から、22道府県約150市町村に拡大された。近隣でも境港市、米子市、安来市、雲南市、出雲市が特措法の恩恵がある地域に指定された。松江市でも美保関町、八束町、東出雲町、八雲町、玉湯町、宍道町が範囲に入り新たに指定されることになるが、今回追加される振興計画はどのように作成され、議会に報告があるのか伺う。また、過去の振興計画に追加する内容はないのか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	1	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
5	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について	(2) 税制の優遇措置が他市でも可能となるため、工業用水のない松江市は逆に格差がつくことになる。早急に工業用水をどのようにするのか、検討が必要と考えるが所見を伺う。					
		(3) 原子力発電に係る電源開発促進税は年間1世帯1,800円、国全体では約3,140億円に対して、太陽光発電など再エネ賦課金は年間1世帯当たり約2万円、国全体では約3兆2,012億円ともいわれており、こういったことを改正することで広くなった地域の予算を増額するべきと考える。市も要望を行っていると思うが国の動向、市長の所見を伺う。					
		(4) F補助金は平成18年3月31日までの合併が対象であるため、旧東出雲町での適用はなく利用できない。松江市では東出雲町のみを対象にした補助も行っているが、F補助金の旧東出雲町への拡大について、国の動向と市長の所見を伺う。					
5	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について	(1) 令和5年から補正予算対応された交付金であるが、県、松江市の予算執行状況を伺う。また、6月5日には通知も出され、重点支援交付金は1,000億円が計上された。この予算の島根県、松江市での事業の内容について伺う。					
		(2) この交付金12億円でおまっちょお買い物券が発行されたが、経費が1億8,000万円かかっている。郊外では券が使える店がなく、移動しにくい市民の皆様から使えないという苦情を多く受けている。マイナンバーカードを使った現金給付か水道料金などに一定額入金するなどしたほうが市民全体に給付の効果があつたのではないかと感じているが、見解を伺う。					
		(3) マイナンバーカードへの紐付け口座のよびかけや、松江市では他市との補助金の違いもあり、他市を参考にした取り組みを市でも検討したほうが良いと考えるが、所見を伺う。					
		(4) 今後も物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金はあると思うが、まえて企画し市民や議会の意見を伺いながら松江市にとってより良い政策になることを願うが、市長の所見を伺う。					
6	国民健康保険の県内統一について	(1) 島根県内統一について一定の方向性がまとまったことから、県から具体的な対応について提案されたようだが、現在の国の状況、今後の松江市の状況が分かれば伺う。					
7	メテオプラザの今後の方針について	(1) 令和6年11月定例会での経済委員長報告として、執行部より、フェリーターミナル機能もあり島根県との協議は欠かせない。建物の状態を詳しく把握するための調査結果がまとまったことから県と情報共有するところである。今後は地元の声を聞きながら県と共に施設の在り方や方向性の検討を行っていくとの報告を受けてから約2年が経過した。現状を踏まえたメテオプラザの在り方、今後の方針、島根県との協議をはじめとした現在の状況について伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	2	議員名	村松りえ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
1	空き家対策	(1) 松江市の空き家について現状を伺う。 (2) 松江市の空き家対策の取り組みについて伺う。 (3) 空き家予備軍を空き家にしないための取り組みについて伺う。 (4) 空き家除去後の固定資産税の減免について見解を伺う。					
2	おまっちょお買物券	(1) 今回国から配分された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金20.6億円のうち、12億円をおまっちょお買物券に予算化した経緯、このような仕様にしたい思いを伺う。 (2) おまっちょお買物券の発行経費約2億円について、内訳と見解を伺う。 (3) 物価高騰対策としておまっちょお買物券がもたらす経済効果やその他の効果について見解を伺う。 (4) おまっちょお買物券の現時点での評価すべき点と反省点を伺う。					
3	東京都北区立滝野川第三小学校の学校火災をふまえた安全対策	(1) 今回の火災後の文科省と消防庁の通知内容に基づいた安全点検等の実施について、実施内容と結果を伺う。 (2) 専門機関に学校施設を確認してもらい、助言を受ける機会は設定しているのか、今回の火災をふまえた専門機関との連携強化について見解を伺う。 (3) レジリエンスエンジニアリングを高めるための新たな訓練や取り組みについて見解を伺う。					
4	国宝松江城天守「令和の大修理」	(1) 「令和の大修理」に対するふるさと納税の寄附状況について、企業と個人とそれぞれ伺う。 (2) 寄附のPRを観光大使に依頼することについて見解を伺う。 (3) 松江市民が一体となって盛り上がるための取り組みについて見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	3	議員名	海徳邦彦	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
1	防災減災について	(1) 今回の熊本地震に対して、松江市としてどのような支援を行っているのか伺う。 (2) 松江市の新庁舎は、どの程度の地震動を想定して設計されているのか伺う。 (3) 松江市のBCP、いわゆる業務継続計画について、仮に本庁舎が使えなくなった場合に、どのような体制で行政機能を継続することとしているのか伺う。 (4) 松江市として、避難所の暑さ・寒さ対策、トイレ環境、衛生環境などについて、どのような備えを行っているのか伺う。 (5) 現在、松江市が民間企業や団体等を締結している災害時の連携協定には、どのようなものがあり、それぞれどのような支援を受けることができるのか。また、協定を締結しているだけではなく、実際の災害時に迅速に機能させるためには、平時から連絡体制や役割分担を確認し、必要に応じて訓練や情報共有を行っておくことが重要と考える。その点について、松江市ではどのような取り組みを行っているのか伺う。 (6) 松江市として、市民の皆様に「災害が起きても、市はしっかりと備えている」と感じていただき、少しでも安心していただけるよう、今後どのように防災・減災対策を進めていくのか伺う。					
2	物価高騰対策について	(1) おまっちょお買物券の利用状況について伺う。 (2) おまっちょお買物券の延長利用の可否について伺う。 (3) 今回の事業終了後、市としてどのような項目を検証し、次の物価高騰対策や、今後のデジタルを活用した地域経済対策に生かしていく考えなのか伺う。 (4) 松江市として、現在の物価高騰が、住民税非課税世帯、生活困窮世帯、ひとり親世帯などにどのような影響を与えていると認識しているのか。また、こうした世帯に対して、国の交付金や既存制度を活用するだけでなく、松江市独自の追加支援を含め、さらなる支援や検討する考えがあるのか伺う。 (5) 仮に食品の消費税率が1%となった場合、松江市の地方消費税交付金などの歳入にどの程度の影響が生じると試算しているのか。また、税収が減った場合、市の財政運営や市民サービスにどのような影響が想定されるのか、現時点での市の認識を伺う。					
3	ハラスメント対策について	(1) 令和7年度について、「心身の故障」を理由とする休職者数を伺う。また、人数の増減を把握するだけでなく、職員が心身の不調に至る背景について、市としてどのように分析しているのか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	3	議員名	海徳邦彦	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
4	予防医療について	(2) 現在、松江市では職員の心身の不調を早期に把握するためどのような相談体制や支援体制を設けているのか。また、管理職に対する研修など、職場での早期発見・早期対応について、どのような取り組みを行っているのか伺う。 (3) 令和8年10月1日から、改正労働施策総合推進法が施行される。どのような工夫をする考えなのか伺う。 (4) 松江市として、職員が安心して働ける環境を整えることと、市民の声を大切にするをどのように両立させ、最終的に住民福祉の増進につなげていくのか伺う。 (1) 松江市国民健康保険における健康診査の取り組みについて伺う。 (2) これまでの特定健康診査や特定保健指導などの取り組みによって、生活習慣病の発症や重症化の予防などに、どのような効果があったと認識しているのか伺う。 (3) 現在の特定健康診査の受診率を市はどのように評価しているのか。また、受診していない方に健診を受けていただくため、どのような取り組みを行っており、今後さらにどのような取り組みを進めていくのか伺う。 (4) 松江市におけるがんの罹患状況は、どのような特徴があるのか。また、がんによる死亡状況についても、松江市としてどのように把握しているのか伺う。 (5) 松江市は現在のがん検診の受診率をどのように評価しているのか。また、がん検診を受けていない市民に対して、どのような受診勧奨を行っているのか。さらに、受診率を向上させるため、今後どのような取り組みを検討しているのか伺う。 (6) 松江市の健康政策において、予防医療について、今後どのように施策を重点化し、取り組みを進めていくのか、見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	4	議員名	山根宏	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
1	物価高騰対策について	(1) 水道基本料2か月減免について、過去2年連続で水道料減免を行ってきた。市は物価高騰対策として水道料減免の施策は有効と判断しているのか伺う。 (2) おまっちょお買物券が利用しにくいと記事が出た。どのような要望・意見が多く寄せられたのか伺う。その後どのような対応をされたのか伺う。また、9月末までに利用されない買物券はどのような取扱いとなるのか伺う。					
2	令和8年熊本地震を受けて	(1) 真夏下での災害であり、避難所(体育館)は暑く、空調のある教室利用やマイカー避難が大きく報道された。今回の災害で空調整備へのフェーズが進んだと考える。 ア 全国の体育館のエアコン設置率は33.1%と聞く。松江市の設置率を伺う。 イ 体育館で空調付きは、総合体育館・鹿島体育館・玉湯学園体育館だと思うが、小中学校体育館の全館完了は計画ではいつ頃になるか伺う。併せて熱中症警戒アラートが出ているときの体育の授業は体育館を使用しているのか現場実態を伺う。 ウ 東京都は前述の設置率90%超えと聞く。一方佐賀県は1%未満とNHK報道された。住んでいるところによって格差がでていることについての松江市の受け止めを伺う。					
3	最低賃金の引き上げを受けて中小企業への支援策	(1) 2026年度最低賃金が59円引き上げ1,092円。10月10日から適用となる。物価高が進む中で引き続き引き上げられたのは評価すべきである。また、経営者からも採用難、人材流出の課題がある中での賃金の底上げにより雇用確保につながることから必要との認識がある。しかし、一方で中小零細企業に与える影響も大きく、人件費を確保することが困難な企業も少なくない。これに対応するため、今年、県に呼応する形で市でも原資確保のための支援強化を行っているが進捗はどうか伺う。また、さらなる支援策など必要と考えるが市の見解を伺う。					
4	自転車利用者への安全走行誘導について	(1) 松江大橋を車で南進していると、南詰のところで赤信号で停車します。そこでは同じく南進する自転車では二つの結果を見ることができる。車道にいる自転車は停車するが、歩道を走行している自転車は停止することなく左折する。 ア 自転車が走行できる場所は標識では示されるものの、瞬時判断が困難なケースがある。カラー舗装があれば認識が容易である。また、舗装幅がなくとも、そもそも走行すべきルートを示すことはできるのでないかと考えるが、市の見解を伺う。また、いつごろ実現できるか併せて伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	5	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
1	熊本地震、千葉豪雨の教訓は～防災減災のまちへ～	(1) 熊本地震では「避難所にクーラーがない」「10日以上たってからダンボールベッドが届いた」「断水でトイレの環境は悪化」「熱中症や感染症が相次いだ」と聞く。国際的には通称スフィア基準と呼ばれる「人道憲章と人道支援における最低基準」という紛争や災害の被害者が尊厳のある生活を送ることを目的に定められた基準がある。例えば、トイレは20人に1台、食料は1人1日2100キロカロリー、水1人1日最低15リットル、居住空間1人あたり最低3.5平方メートルなど。 ア 松江市では、災害備蓄品は松江市総合体育館に集中備蓄しており、過去の答弁でも避難所が開設されれば「避難者の生活に必要な物資を必要な場所に搬送し、避難者の皆様にお届けする」としている。仙台市は小学校、中学校、高校など190か所以上の指定避難所に約50品目の備蓄品を備えている。輪島市の報告書にも「地震の揺れで資機材が被害を受けた」、「車両被害で出動困難」等とあげられており課題は明らか。大地震の際の道路の被害は「想定外」ではすまされないのではないか。松江市の備蓄の在り方について改めて検証と見直しを求めるがどうか伺う。 イ 避難所として指定されている、小中学校、体育館等へのエアコンの設置状況と、今後のエアコン設置計画の前倒しや見直しの検討はどうか伺う。 ウ 松江市も温かい食事の提供やトレーラーハウス、トイレなど民間事業者とも連携し災害時の避難所充実へ努力している。スフィア基準や他市の状況とも比較し、松江市の避難所の計画はどのようになっているのか。特にトイレやプライバシーを守るテント等の確保について体制強化を求めるがどうか、改めて伺う。 エ 車中泊の備えについて政府は2024年6月、防災基本計画に車中泊への備えの必要性を明記し駐車スペースの事前公表等自治体向け手引も作った。支援物資が車中泊の方に適切に届けられること、防災拠点として発電、充電設備や給油設備を整えた駐車場の整備など車中泊への備えも必要だと考えるが、松江市の検討状況はいかがか伺う。 オ 千葉豪雨の死者13人の内9人は浸水想定区域内で亡くなった。車内やアンダーパスで亡くなった方もいる。市としてできる対策は何か。私は地域で防災カフェとして防災部の講座も行い「日ごろの備えの大切さ」を市民に知らせる活動を行った。ハザードマップなど、市の発信している防災情報を知らせる取組の状況はどうか伺う。 カ 松江市ではバス停の屋根設置は594か所中26%の152か所。猛暑対策の観点で、周囲に屋根のないバス停には早急に屋根を設置していくことが求められる。市で計画を立て設置するとともに、適切な補助制度が求められると考えるがどうか伺う。 キ 防災拠点の整備や上下水道の耐震化、老朽化対策など、国に対して防災予算の増額を要望していく必要がある。軍事・防衛にお金をかけるのではなく、被災者の生活再建など必要な防災予算を大幅に増やすこと、災害に強い街づくりに国は責任を持つよう地方から声をあげるべきと考える。見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	5	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目		質問要旨					
2	島根原発2号機稼働やめよ	(1) 熊本地震は10年前に割れ残っていた領域が破壊したとみられ、「30年以内に震度7以上の地震の発生確率」は最高Sランク。宍道断層も地震調査委員会の調査ではSランクと最高ランクになっている。専門家は「山陰地方は花崗岩地帯、古い岩盤が広がっていて、新しい時代の地層や地形が十分見られない場所。こういうところはなかなか活断層があるかどうかというのは立証できない。空白になっている可能性が高い。空白は安全ではなく、これまで知られていない未知の断層が地震を引き起こす可能性がある」と指摘している。防災計画の前提でもある宍道断層と鳥取沖合断層の連動性について、今一度独自の調査や国に対して調査を求めるべきと考えるがどうか伺う。 (2) 中国電力が定期検査を終え9月には営業運転を再開しようとしている。定期検査で発覚した30年間誤った部品を使用し核燃料の冷却が十分でない時期があった問題、先般は原発構内で作業員が負傷していたにもかかわらず公表されなかった問題も発覚。市民説明会でもトラブル続きの会社の姿勢に対し市民から「再処理工場の完成が先だ」、「中電は数々の捏造がある」、「プルサーマルは、地元が新たな危険を抱えることになる」など不安の声が多く出されている。中国電力に原発を運転する資格はない。立地自治体として市民の安心安全のためには再稼働を認めるべきではないと考える。見解を伺う。					
3	コメ問題～不安定な政府対応へ対策を～	(1) 2026年産米の収穫が始まるなかで米価の下落傾向が顕著になり、島根でも「概算金」は1万6千円と公表された。政府が認定した生産コストの指標は平均2万535円であり大幅に下回っている。備蓄米について「収穫前の買い戻しを」という都道府県知事会や関係団体の一致した要請に答え、政府はようやく9月に21万トンを買戻す方針となった。 ア 政府備蓄米はわずか32万トンで買い戻し分を加えても政府自身が適正水準とする約100万トンを大幅に下回る。不作、災害などの緊急事態に対応できない量であり一刻も早く回復すべきと考える。見解を伺う。 イ 米の店頭価格は、家計を圧迫しない水準に落ち着かせることが求められる。農家の販売価格が生産コストを下回った場合、差額を政府が補填することが不可欠。生産者が営農を続けていくためにも、消費者にとっても、米の需給と価格の安定に政府が責任を持つことが求められると考えるがどうか伺う。 ウ 市内のコメ農家の現状と、持続的な農業経営へ市としてどのような支援ができるか、考えを伺う。					
4	夏休み子どもの暮らしについて	(1) 夏休みは給食がなくなることから「夏休み明けに子どもが痩せている」、「子どもの食が心配だ」と以前より声がある。続く物価高騰で食費や光熱費の負担が家計を圧迫している。物価高騰の影響は、低所得の家庭ほど影響が大きく、特に食べ盛りの中高生のいる世帯に重くのしかかっている。 ア 子どもの居場所としては一般的に放課後児童クラブがあるが、松江市の公設児童クラブでは基本的に3年生までのところが多い。近年は酷暑が続く、かつてと違って外で遊びづらく、夏休み中子どもが安全に過ごせる居場所の重要性が高まっていると専門家も指摘している。6年生までの拡充を求めるがどうか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月8日
質問項目			質問要旨			
5	戦争体験を語り継ぐことについて		イ こども家庭庁は「夏季休業中の酷暑対策及び食支援」を進め、各自治体に食品事業者やフードバンク、子ども食堂との連携を呼びかけ、備蓄米の無償交付も行ったという。松江市の状況はどうか伺う。 ウ 子ども食堂や民間のフードバンクは公民館単位でばらつきがあり、支援の手が届かない地域もある。地域間格差が課題だと考えるがどうか伺う。 エ 子どもの夏休みの食や健康の実態把握はできているか伺う。 オ 就学援助制度について、これまでも、支援を必要とする全ての家庭にいきわたるよう制度の周知と拡充を求めてきたが、申請状況の現状はどうか伺う。 (1) 核の脅威が高まり、世界で戦争が続く中迎えた戦後81年の夏であった。戦争を直接体験した方が減っていく中で、その継承は大きな課題。玉湯空襲の凄惨な記憶を風化させないため、地元住民や遺族らにより「玉湯空襲慰霊の会」などが結成され、毎年7月28日前後に慰霊祭や法要が行われている。島根大学では県内の戦争体験記録のデータベース化・公開といった取り組みを継続的に行っており、若い大学生による企画展示の開催もあった。市民団体では体験を語り継ぐ会や、証言を朗読劇にし若い世代に継承するなどの取組もある。松江市として戦争体験の「記録」や「継承」をどう考えているのか。希少な証言やその活動を支えていく必要があるのではないか。松江市として平和行政を一步進めることを求める。見解を伺う。			